



ケーブルコンベンション関連イベント

ケーブル技術ショー

Cable Tech Show 2019

人をつなぐ、地域をつなぐ、豊かな社会づくりを目指して
ケーブル技術の新時代、幕開け。 The New Era of Cable Technology Begins!



実施報告書

INDEX

ごあいさつ	3
全体概要	4
来場者数	6
技術展示会会場図	7
技術展示会出展者一覧	8
技術展示会会場写真	9
技術セミナー概要	11
技術セミナー写真	12
技術セミナープログラム	13
主催者テーマ展示ゾーン概要	14
主催者テーマ展示ゾーン写真	16
会場内ツアー概要	17
会場内ツアー写真	18
情報交流ラウンジ概要	19
来場者アンケート集計結果	21

「ケーブル技術ショー2019」を終えて

日頃は、一般社団法人日本CATV 技術協会の活動にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。さて、去る6月19日（水）、20日（木）の2日間、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、一般社団法人衛星放送協会及び弊協会3団体が主催いたしました「ケーブルコンベンション2019」と、その関連イベント「ケーブル技術ショー2019」に多数のご来場をいただき誠にありがとうございました。

来場者数は11,157名と、5年連続で1万人を超える来場者数となりました。加えて、21枠の技術セミナーには延べ1,497名のご参加をいただき盛況の内に幕を閉じました。

3つのエリア「プラットフォーム・総合」「ヘッドエンド系・受信端末・伝送系」「ソフト・制作系・CPS/IoT・部品等」で区分した各展示ゾーンでは、93社（86ブース）が出展し、4K・8K放送関連のRF方式・IP方式伝送ソリューションシステム、5G・LPWA関連の無線ソリューションに加え、制作運営面でのAI技術を活用したシステムソリューションを紹介し、来場者からは「4K・8K放送について番組制作・編集、伝送、受信に関わるシステム・機器の情報が収集できた」、「ローカル5G他無線サービスとFTTH化の今後が期待できる」、「災害時のケーブルテレビの役割、設備の強靱化の必要性と対策ソリューションが理解できた」などといった意見が多く聞かれ、今年のショーの印象として「非常に良かった・良かった」との評価を数多く頂戴しました。

主催者テーマ展示ゾーンでは、「ケーブル技術が創る未来タウン」と題して、新4K8K衛星放送技術、4K・8K多チャンネルIP棟内伝送技術、ケーブルテレビ高度化技術・ケーブルアプリ、IPDC技術を活用した次世代防災減災システム、ハイコネによる放送と通信連携型ソリューション、23GHz双方向無線CATVシステム、ケーブルテレビ網の無電柱化への取り組みについて紹介し、ケーブルサービスの今後を俯瞰できた等の評価をいただきました。

また、「4K・8K ケーブル技術」、「次世代高速通信・大容量化」、そして「防災・減災、地方創生」の3つのテーマに関連した出展者を巡る会場内ツアーには、総数220名の参加者の方からは「判りやすい説明で出展者の意向が短時間で良く理解できた」、「一人では声をかけにくいですが、ツアーだと説明を聞きやすかった」とご好評をいただきました。

さらに、今年はビジネスチャンス創出のための特筆すべき施策として、「ケーブル技術ショー2019VR展示会」を、ネット上で開催しています。単に「会場の様子」を見るだけでなく、各出展ブースを訪問してパネルや製品および動画を見ることもでき出展者に質問することもできます。また、「会場内ツアー」「主催者テーマ展示ツアー」などのコンテンツも動画で見ることができます。諸般の事情でケーブル技術ショー2019にご来場いただけなかった方、来場はしたが時間がなくて見逃したブースがある方など、多くの方々に「ケーブル技術ショー2019 VR展示会」に訪問していただければと考えて実施しました。

弊協会は、会員社、関係団体・機関と連携して、重要インフラとなったCATV の更なる普及・発展、信頼性の確保、地域の安心と安全を守る、CATV 技術者集団として“ケーブル技術の新時代の実現”を進めてまいります。

今後とも皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年 8月

一般社団法人 日本CATV技術協会
理事長 内田 茂之

全体概要

開催概要

開催テーマ

～人をつなぐ、地域をつなぐ、豊かな社会づくりを目指して～

ケーブル技術の新時代、幕開け。

The New Era of Cable Technology Begins!

開催趣旨

今日、ケーブルテレビは、全世帯の52%以上となる全国約3千万世帯に放送サービスやインターネット接続サービスなどを提供する地域の総合情報通信メディアとして、重要な社会インフラの一つです。

2018年12月からBS・110度CSによる新4K8K衛星放送の開始に伴い、ケーブルテレビでの再放送もいよいよ開始となります。ケーブルテレビは新4K8K衛星放送の視聴の最有力候補として期待され、東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の放送に向けてよりますます関心が高まりつつあり、ケーブルテレビや共同受信におけるこれらの受信環境の整備も一層の加速が見込まれます。

一方、ケーブルテレビ事業においては、新4K8K衛星放送開始を契機に、ハイブリッドキャストやIPリニア放送への対応、IoTの導入、伝送する情報量の増大や次世代無線通信システム5Gの到来など様々な課題の検討が不可欠となっています。さらにはIoT機器がコンピューターウイルスの脅威に常にさらされている現状にあってサイバーセキュリティ対策の強化や、防災・地域情報提供システムとの連携も社会インフラとしてケーブルテレビには求められています。また、放送・サービス分野においてAI技術の活用・導入により、作業効率の向上、コンテンツの分析・編集・生成に大きな力を発揮しそうです。

2019年は新たなビジネスチャンスの到来と捉え、ケーブルテレビ事業はますますの進化・高度化と、次の時代を切り開くイノベーションとソリューションの創出が期待されます。

ケーブル技術ショー2019では、「新時代の実現」に向けた機運醸成を行うと共にケーブルテレビ・技術の一步先行く姿を発信し、新たなビジネスチャンスの創出に向けケーブル業界全体を牽引して行きます。

全体概要

- 名称：ケーブルコンベンション 2019 関連イベント「ケーブル技術ショー 2019」
Cable Tech Show 2019
- 会期：2019年6月19日（水） 9:30～18:00 6月20日（木） 9:30～17:00
- 会場：東京国際フォーラム ホールE
- 主催：（一社）日本CATV技術協会／（一社）日本ケーブルテレビ連盟／（一社）衛星放送協会
- 後援：総務省
- 特別協賛：（一社）日本ケーブルラボ／ケーブルテレビ無線利活用促進協議会／
（一社）日本コミュニティ放送協会
- 協賛：情報通信月間推進協議会
- 特別協力：日本放送協会／（一社）日本民間放送連盟／（一社）放送サービス高度化推進協会
- 協力：日本テレビ放送網（株）／（株）TBSテレビ／（株）フジテレビジョン／（株）テレビ朝日／
（株）テレビ東京／毎日新聞社／読売新聞社／日本経済新聞社／産業経済新聞社／東京新聞／
共同通信社／時事通信社／（一社）日本経済団体連合会／（一社）電子情報技術産業協会／
（一社）電波産業会／（一社）電気通信事業者協会／（一社）テレコムサービス協会／
（一社）日本インターネットプロバイダー協会／
（一社）コンピュータエンターテインメント協会／（一財）全国地域情報化推進協会／
（一財）電波技術協会（順不同）

技術展示会

会 期：2019年6月19日（水） 9:30～18:00 6月20日（木） 9:30～17:00

会 場：東京国際フォーラム ホールE

入 場 料：無料（入場登録制）

展示規模：93社 86ブース（267小間）

技術セミナー

会 期：2019年6月19日（水） 9:30～18:00 6月20日（木） 9:30～16:30

会 場：東京国際フォーラム ホールE 隣接 セミナー室-1、セミナー室-2

参 加 料：無料（事前申込制）

開催規模：15社 21セミナー

関連行事

テ ー マ：Beyond the Value ～その価値を超えて、ここから生み出そう～

イベント名：ケーブルコンベンション2019

会 期：2019年6月19日（水）、20日（木）

会 場：東京国際フォーラム

主 催：一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟／一般社団法人日本CATV技術協会／
 一般社団法人衛星放送協会

後 援：総務省

オフィシャルスポンサー：KDDI株式会社／日本デジタル配信株式会社

特別協賛：（一社）日本ケーブルラボ／ケーブルテレビ無線利活用促進協議会／
 （一社）日本コミュニティ放送協会

協 賛：情報通信月間推進協議会

特別協力：日本放送協会／（一社）日本民間放送連盟／（一社）放送サービス高度化推進協会

協 力：日本テレビ放送網（株）／（株）TBS テレビ／（株）フジテレビジョン／（株）テレビ朝日／
 （株）テレビ東京／毎日新聞社／読売新聞社／日本経済新聞社／産業経済新聞社／東京新聞／
 共同通信社／時事通信社／（一社）日本経済団体連合会／（一社）電子情報技術産業協会／
 （一社）電波産業会／（一社）電気通信事業者協会／（一社）テレコムサービス協会／
 （一社）日本インターネットプロバイダー協会／
 （一社）コンピュータエンターテインメント協会／（一財）全国地域情報化推進協会／
 （一財）電波技術協会（順不同）

申 込 方 法：Web 事前登録制（一部有料）



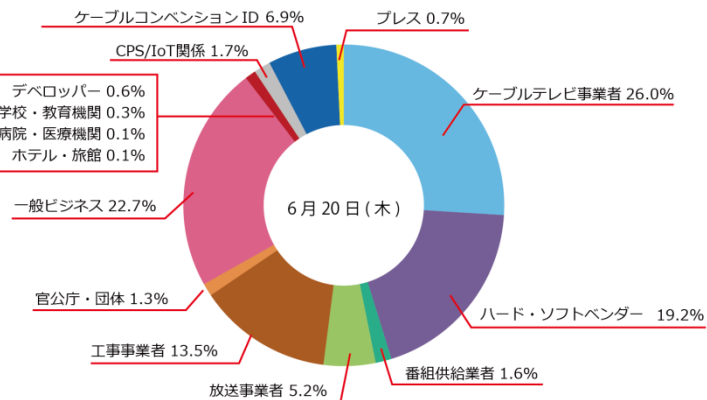
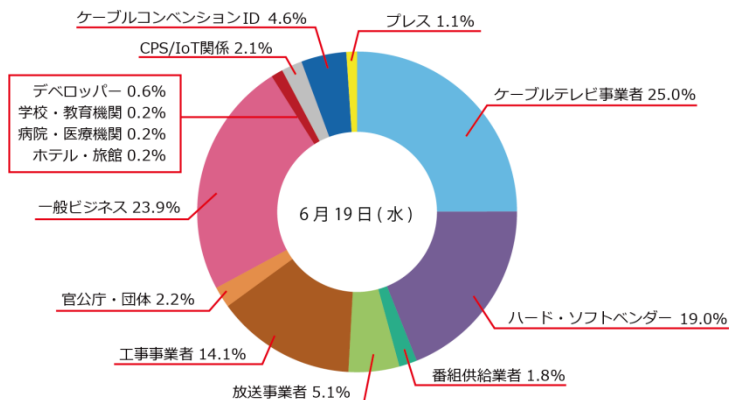
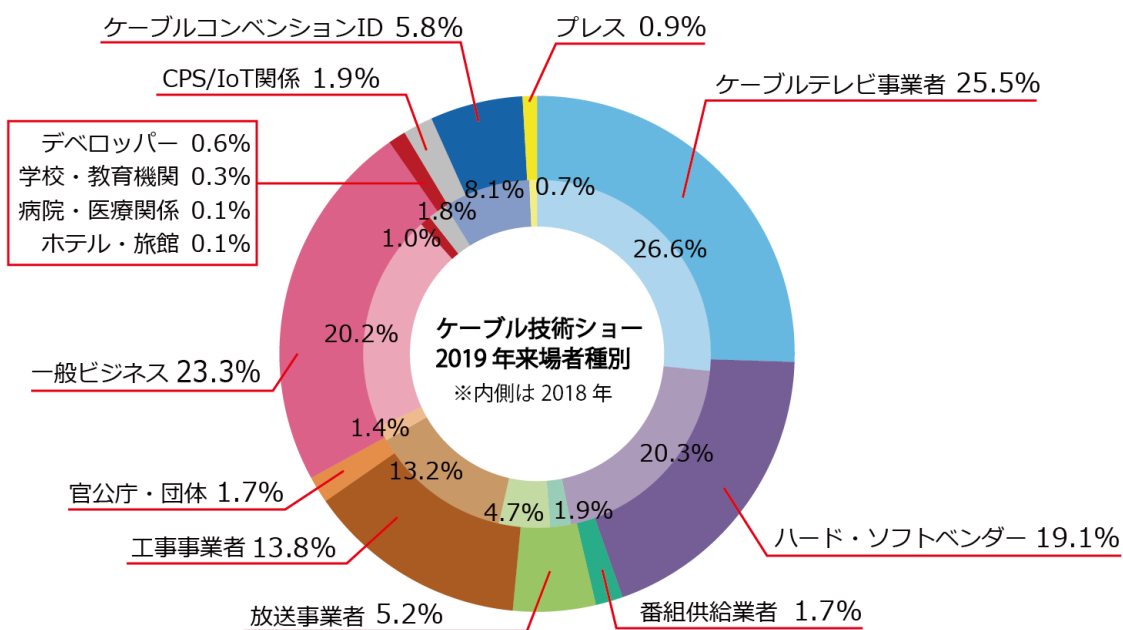
来場者数

プログラム別来場者数

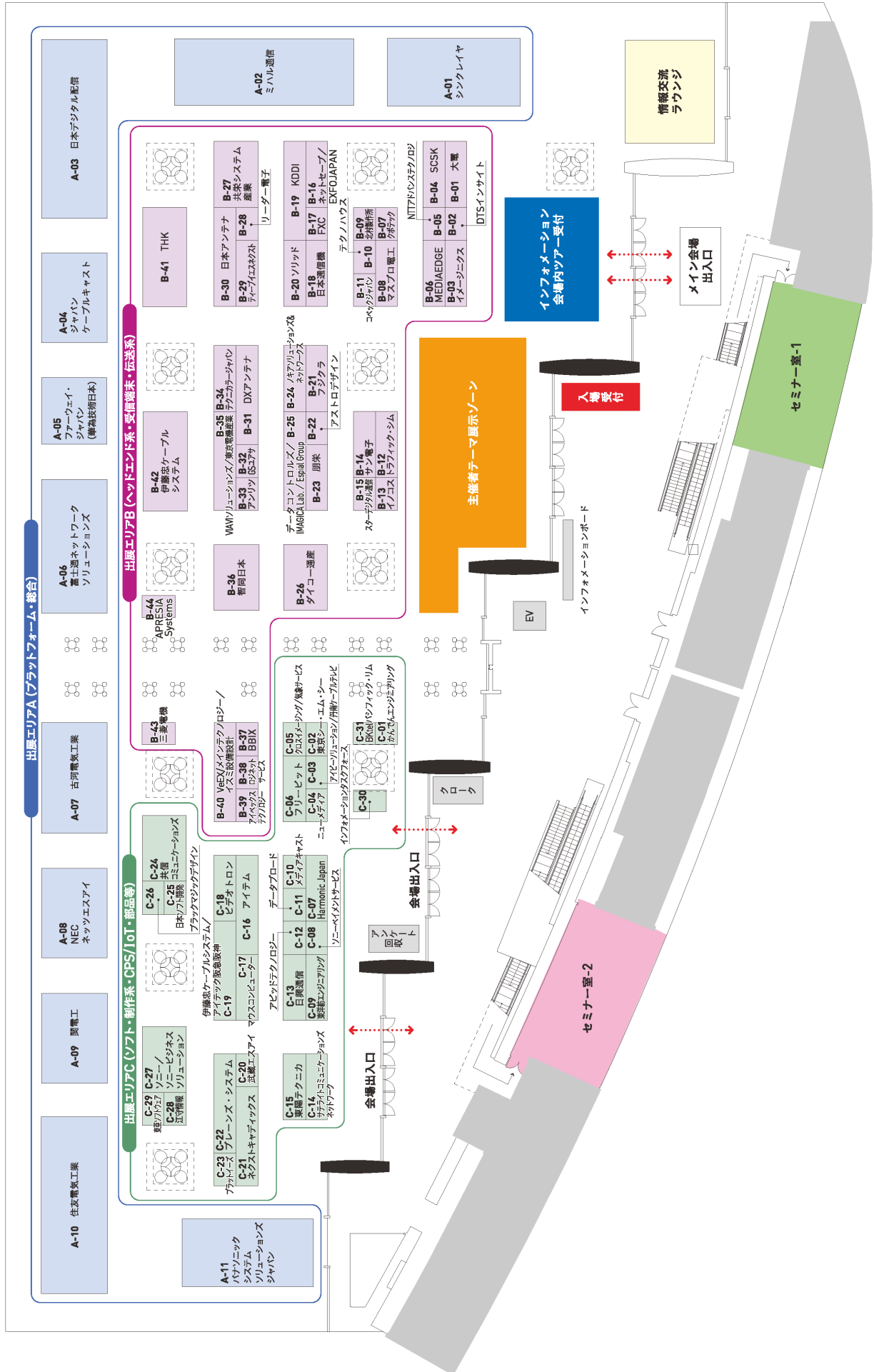
プログラム	日程	来場者数
技術展示会	6月19日 (水) 晴れ	6,082 名
	6月20日 (木) 曇り	5,075 名
	合計	11,157 名
技術セミナー	6月19日 (水) 晴れ	763 名
	6月20日 (木) 曇り	734 名
	合計	1,497 名

※ プライベートセミナーの人数も含まれます。

業種別来場者の比率



技術展示会 会場図



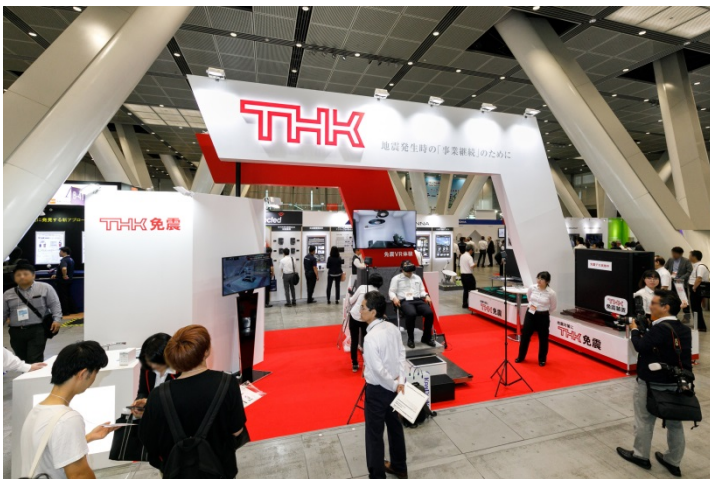
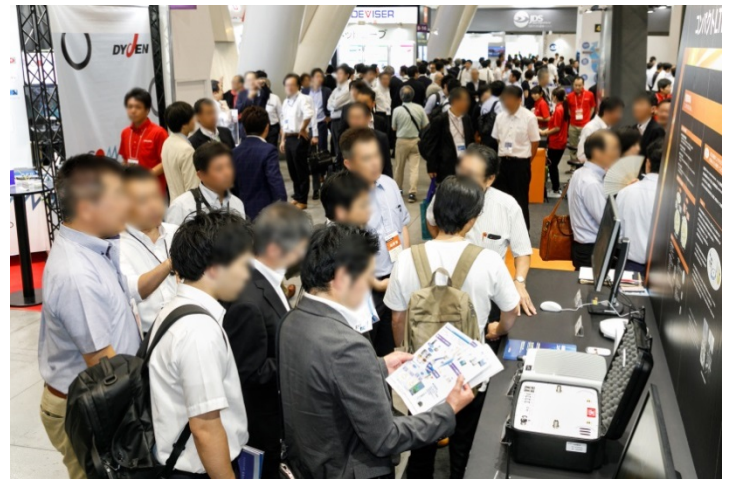
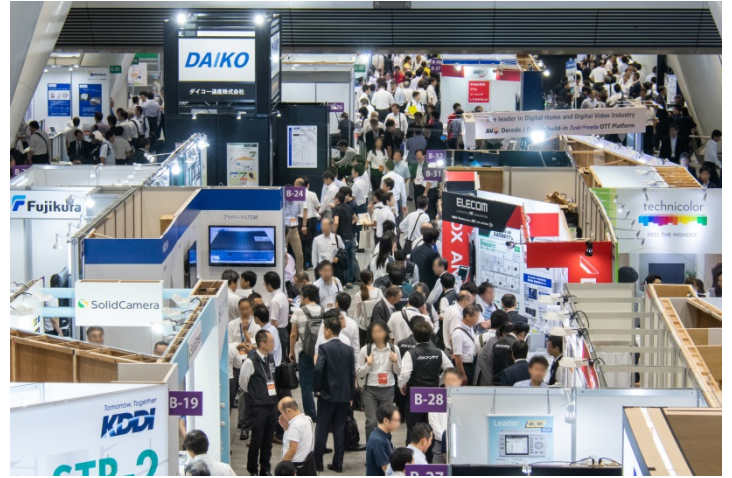
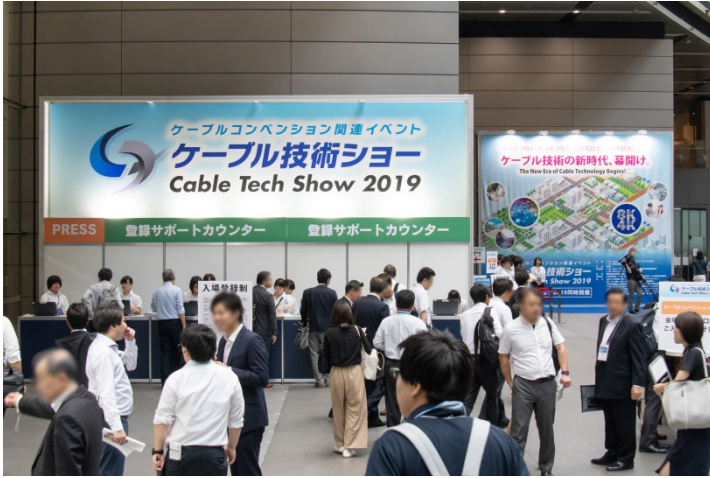
技術展示会 出展者一覧

小間番号	会社名	申込小間数
C-16	アイテム	3
C-03	アイビーソリューション/丹南ケーブルテレビ	1
B-39	アイバックテクノロジー	1
B-22	アストロデザイン	1
C-12	アビッドテクノロジー	1
B-44	APRESIA Systems	1
B-33	アンリツ	1
B-42	伊藤忠ケーブルシステム	6
C-19	伊藤忠ケーブルシステム/アイテック阪急阪神	3
B-13	イノコス	1
B-03	イメージニクス	2
C-30	インフォメーションタスクフォース	1
B-35	VIAVIソリューションズ	2
B-04	SCSK	2
A-08	NECネットエスアイ	8
B-05	NTTアドバンステクノロジー	1
B-17	FXC	1
C-28	江守情報	1
C-01	かんでんエンジニアリング	1
A-09	関電工	8
B-09	北村製作所	1
B-27	共栄システム産業	4
C-24	共信コミュニケーションズ	4
B-07	クボテック	1
C-05	クロスイメージング/気象サービス	1
B-19	KDDI	3
B-11	コパックジャパン	1
C-14	サテライトコミュニケーションズネットワーク	2
B-14	サン電子	2
B-32	GSユアサ	1
A-04	ジャパンケーブルキャスト	8
A-01	シンクレイヤ	12
B-15	スターデジタル通信	1
A-10	住友電気工業	16
C-27	ソニー/ソニービジネスソリューション	4
C-08	ソニーペイメントサービス	1
B-20	ソリッド	2
B-26	ダイコー通産	4
B-01	大電	2
B-36	智同日本	4
B-41	THK	6
B-02	DTSインサイト	1
B-29	ディーブイエスネクスト	2
B-31	DXアンテナ	3

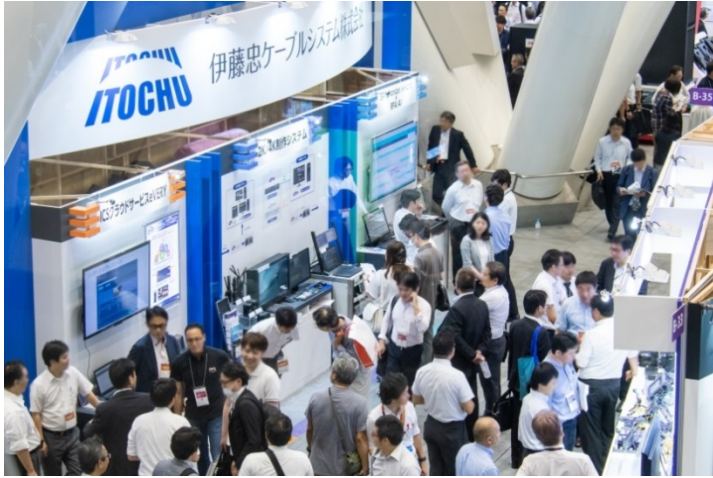
B-25	データコントロールズ/IMAGICA Lab. / Espial Group	3
C-11	データブロード	1
B-34	テクニカラー・ジャパン	2
B-10	テクノハウス	1
C-29	東亜ソフトウェア	1
C-02	東京シー・エム・シー	1
B-35	東京電機産業	1
C-15	東陽テクニカ	2
C-09	東洋紡エンジニアリング	2
B-12	トラフィック・シム	2
C-13	日興通信	2
B-30	日本アンテナ	3
C-25	日本ソフト開発	1
B-18	日本通信機	2
A-03	日本デジタル配信	16
C-04	ニューメディア	1
C-21	ネクストキャディックス	3
B-16	ネットセーブ/EXFO JAPAN	2
B-24	ノキアソリューションズ&ネットワークス	2
C-07	Harmonic Japan	2
A-11	パナソニックシステムソリューションズ ジャパン	12
B-40	VeEX/メインテクノロジー/イスマ設備設計	3
C-31	BKtelパシフィック・リム	1
B-37	BBIX	1
C-18	ビデオトロン	2
A-05	ファーウェイ・ジャパン (華為技術日本)	6
B-21	フジクラ	2
A-06	富士通ネットワークソリューションズ	12
C-26	ブラックマジックデザイン	1
C-23	ブラットイーズ	1
C-06	フリービット	2
A-07	古河電気工業	10
C-22	ブレンズ・システム	3
B-23	朋栄	2
C-17	マウスコンピューター	2
B-08	マスプロ電工	2
B-43	三菱電機	1
A-02	ミハール通信	16
C-20	武蔵エスアイ	1
B-06	MEDIAEDGE	2
C-10	メディアキャスト	1
B-28	リーダー電子	1
B-38	ロジネットサービス	1

(五十音順)

技術展示会 会場写真



技術展示会 会場写真



技術セミナー 概要

実施概要

会 期：2019年6月19日（水） 9:30～18:00 6月20日（木） 9:30～16:30
 会 場：東京国際フォーラム ホールE 隣接 セミナー室-1、セミナー室-2
 参 加 料：無料（申込制）
 開 催 規 模：15社 21セミナー

会場

セミナー室-1

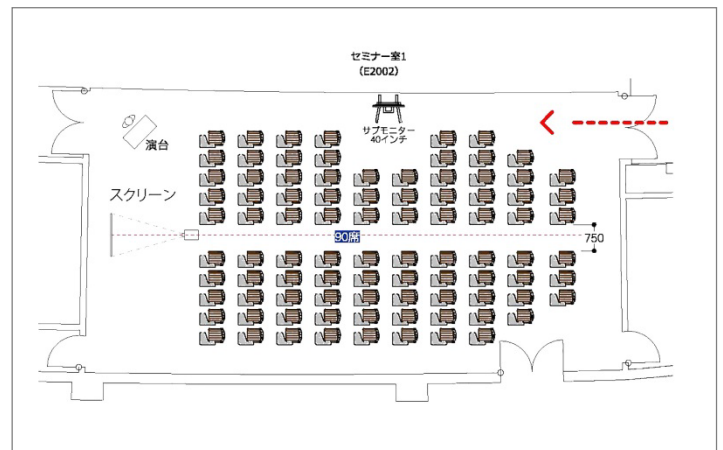
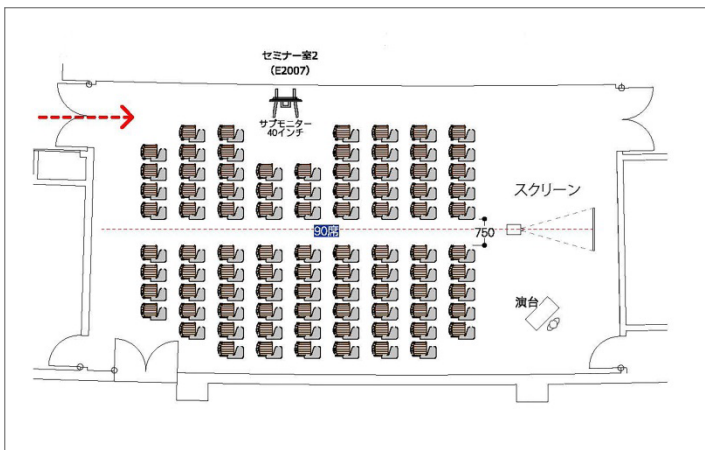
セミナー室-2

収容人数：90名

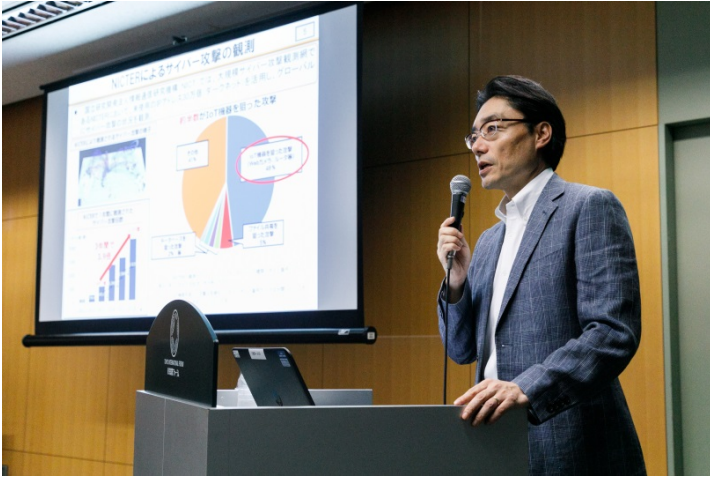


セミナー室2

セミナー室1



技術セミナー 写真



6月19日 (水)

開催時間	セミナー室1	セミナー室2
9:30 ▼ 10:30	主催者技術セミナー IoT時代のサイバーセキュリティ政策 講師：総務省 サイバーセキュリティ統括官室参事官 赤阪 晋介	パナソニック システムソリューションズ ジャパン 4Kトランスフォーメーションに向けたパナソニックの取り組み
11:00 ▼ 12:00	シンクレイヤ シンクレイヤの考える次世代型IP放送システム	アビッドテクノロジー 新生 Media Composer デモンストレーション 講師：アプリケーションスペシャリスト 西岡 崇行
12:30 ▼ 13:30	ミハル通信 4K+Upソリューション	トラフィック・シム 高度BS/CATV新放送に関連した監視同録と対応機器のご提案 講師：大島 真亮
14:00 ▼ 15:00	BBIX CATV事業者が押さえておくべき！インターネット業界動向 講師：事業推進本部 本部長 安部 博文	古河電気工業 Next One Service ～ケーブルテレビの未来～
15:30 ▼ 16:30	富士通ネットワークソリューションズ 富士通グループの5Gに対する取組み 講師：運用・西日本事業本部長代理 塚越 寿夫	伊藤忠ケーブルシステム 5G社会に向けたICSのWireless戦略 講師：CATV・ネットワーク営業部 課長 田部井 和道
17:00 ▼ 18:00	Harmonic Japan 最新の技術革新紹介とCNA様事例紹介 【4K高品質・低遅延伝送と配信試験】 講師：セールス・ディレクター 鈴木 善樹 株式会社秋田ケーブルテレビ 事業創生グループマネージャー 石井 浩幸	

□ オープンセミナー ■ プライベートセミナー

6月20日 (木)

開催時間	セミナー室1	セミナー室2
9:30 ▼ 10:30	データブロード 災害に強いCATV局を目指して ～西日本豪雨災害から得た教訓～	古河電気工業 Next One Service ～ケーブルテレビの未来～
11:00 ▼ 12:00	伊藤忠ケーブルシステム/ アイテック阪急阪神 ショートメッセージ (SMS) を活用した働き方改革について	BBIX インターネット相互接続入門 講師：事業推進本部 SE部 部長 勝村 善一郎
12:30 ▼ 13:30	シンクレイヤ 次世代高速通信へのマイグレーション	THK CATV業界の災害に対する備え、BCP BCMへの取り組みについて 講師：産業機器統括本部 ACE事業部長 折居 修
14:00 ▼ 15:00	富士通ネットワークソリューションズ 富士通グループの5Gに対する取組み 講師：運用・西日本事業本部長代理 塚越 寿夫	住友電気工業 住友電工の高度CATVシステムへの取り組み
15:30 ▼ 16:30	ミハル通信 4K+Upソリューション	VIAVI ソリューションズ/東京電機産業 DOCSIS3.1 / R-PHYへの移行に向けた伝送路品質の維持管理 講師：アプリケーションエンジニア 高張 太郎

□ オープンセミナー ■ プライベートセミナー

主催者テーマ展示ゾーン 概要

展示概要

主催者テーマ展示ゾーンでは、「ケーブル技術が創る未来タウン」と題して、『別世界！新4K8K衛星放送』『4K・8K多チャンネルIP放送の棟内伝送技術』『ケーブルアプリ/次世代編集技術/運用高度化技術/次世代配信技術』『IoT放送×マルチIPデバイス×LPWAによる次世代防災減災システム』『ケーブルテレビ網の無電柱化』『ケーブルテレビ高度化技術（23GHz無線）』『ハイコネを用いたローカル局視点での動画配信』の7つのエリアで展開。これらのテーマ展示を通じて、人をつなぐ、地域をつなぐ、豊かな社会づくりの実現に向けた情報通信インフラの先端技術および動向をわかりやすく紹介しました。

- ①**別世界！新4K8K衛星放送** [協力：（一社）放送サービス高度化推進協会／（一社）日本CATV技術協会]
当ブースでは、昨年12月から開始した新4K8K衛星放送の概要や受信方法等を解説します。新4K8K衛星放送では、BS・110度CS放送の左旋電波（2224～3224MHz）を利用するため、遮蔽性能の低い機器を使用していると、機器からの電波漏洩により他の無線サービス（無線LANやブロードバンドワイヤレスアクセス等）へ妨害を与えたり、逆に新4K8K衛星放送に受信障害が発生する可能性があります。どのような機器を使用すれば新4K8K衛星放送の全局を受信でき、電波漏洩を防止できるのか、実機を展示して解説しながら、電波漏洩対策に関わる助成金制度等をご紹介します。
- ②**4K・8K多チャンネルIP放送の棟内伝送技術** [協力：NHK放送技術研究所]
NHK放送技術研究所では、4K・8Kスーパーハイビジョンのケーブルテレビ伝送技術の研究を進めています。2018年12月に本放送が開始された新4K8K衛星放送の再放送サービスに加えて、ケーブルテレビのIP伝送路での4K・8K多チャンネル放送サービスの可能性も検討しています。棟内が同軸ケーブルしか敷設されていない集合住宅においては、ケーブルテレビ事業者からFTTB（Fiber To The Building）接続されて送られてくる信号の全ては伝送できないため、DOCSIS規格を活用して4K・8K多チャンネルIP放送の棟内伝送を実現する技術を展示しています。
- ③**ケーブルアプリ/次世代編集技術/運用高度化技術/次世代配信技術** [協力：（一社）日本ケーブルラボ]
「ケーブルアプリ」コーナー：「LPWA用アプリケーション」、「高齢者向けアプリケーション」
「次世代編集技術」コーナー：「メタデータ自動生成」、「統合型スマート編集管理システム」
「運用高度化技術」コーナー：「リモート運用保守タブレット」、「Wi-Fi リモート保守システム」、
「ネットワーク品質測定システム」
「次世代配信技術」コーナー：「放送・通信自動切換技術」
- ④**IoT放送×マルチIPデバイス×LPWAによる次世代防災減災システム** [協力：IPDCフォーラム]
地デジのIPDC、ケーブルのパススルー、宅内でのBluetoothによるブロードキャスト、この3つの放送の仕掛けを組み合わせることで、既設の放送システムだけを活用して通信に一切頼らない地域密着の耐災害性の高い防災減災システムを実現しました。
IPDC技術があれば、テレビ、サイネージ、AIスピーカー、スマホ、その他IoT機器などデバイスを選ばず（ワンストップに）、位置情報等に応じた最適な情報を、放送として即時に届けることができます。さらに、今回は、上にLPWAメッシュの仕掛けを組み合わせることで、完全に通信に依存しない次世代型の防災減災システムを実現しています。
- ⑤**ケーブルテレビ網の無電柱化** [協力：（一社）日本ケーブルテレビ連盟／（一社）日本CATV技術協会]
国交省の第7期無電柱化推進計画、及び内閣官房の国土強靱化計画、合わせて約2,400Kmの無電柱化が進められていますが、高額な工事費用について浅層埋設による小型ボックスなどコスト縮減方策が引き続き検討されています。ここでは地中化された場合に光クロージャーやタップなどが、特殊部でどのように収められるのかを模擬的に展示しております。この特殊部もさらなる小型化が検討されております。また、ケーブルテレビ連盟を主体に昨年より開発しておりました小型ベDESTALボックスも製品化できる見通しとなりました。

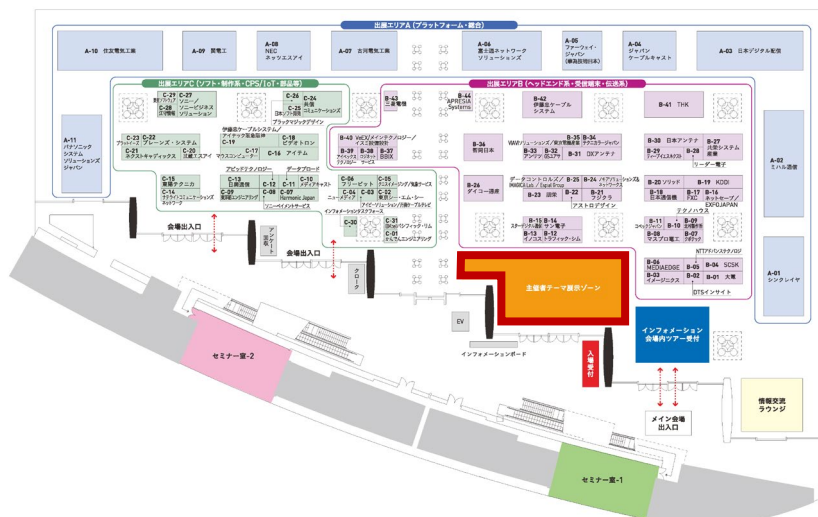
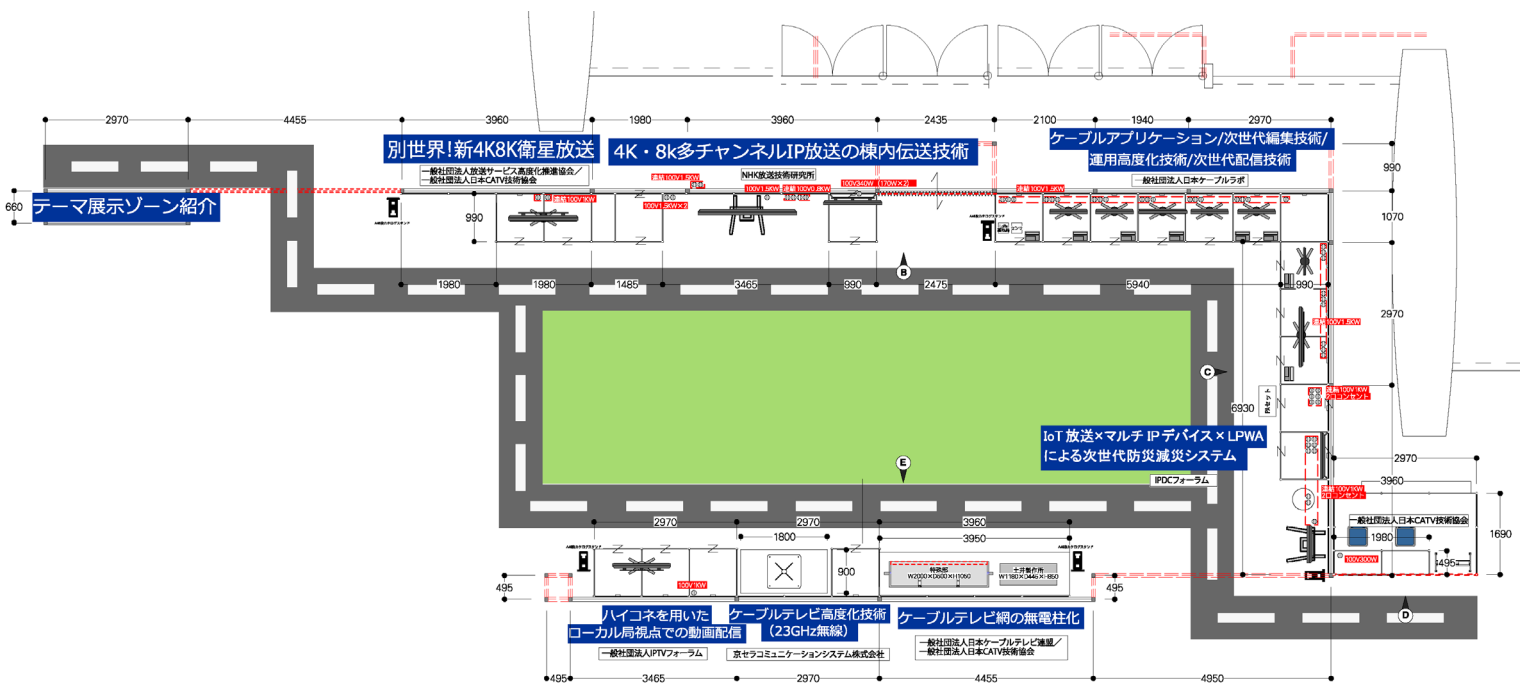
⑥ **ケーブルテレビ高度化技術（23GHz無線）** [協力：京セラコミュニケーションシステム（株）]

従来の23GHz帯無線伝送システムは、片方向のみの利用であり、海底ケーブルや河川横断、地デジ受信点からの中継連絡船など、既存伝送路のバックアップ用として利用されています。今回制度改正を目的とした23GHz帯無線伝送システムの双方向化等に関する技術的条件の調査検討により、「偏波多重技術」「双方向化技術」「変調方式高度化技術」「小型・軽量化」の検討を行い、試作機の製作、実証実験を通してその有用性を検証致しました。本会場では実証実験の紹介と共に試作機を展示しております。

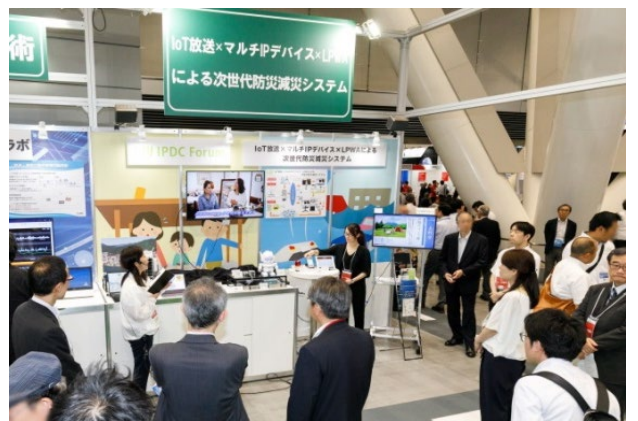
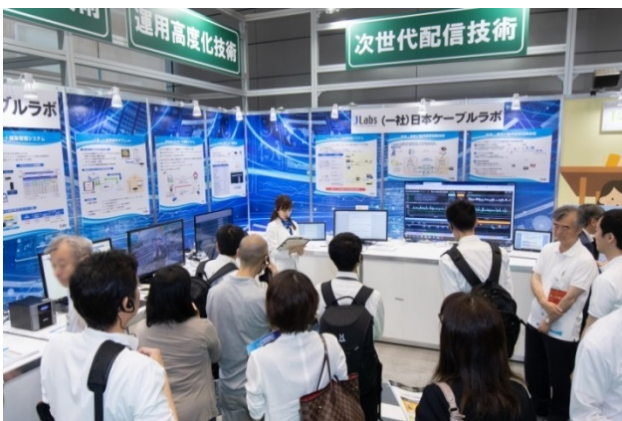
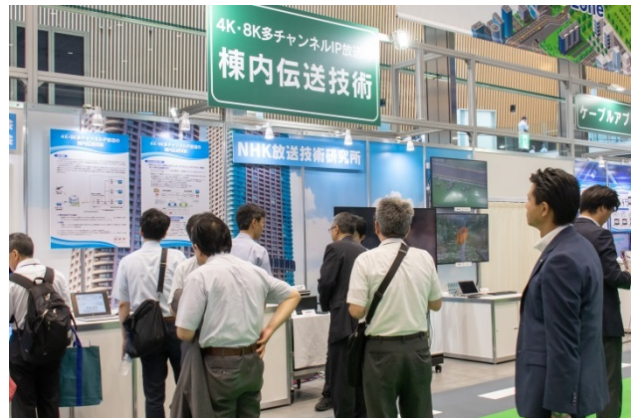
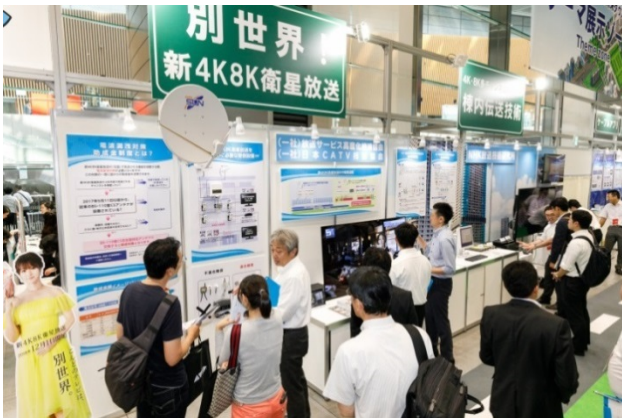
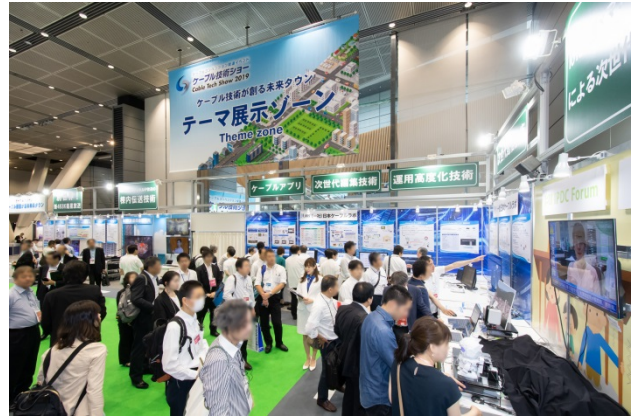
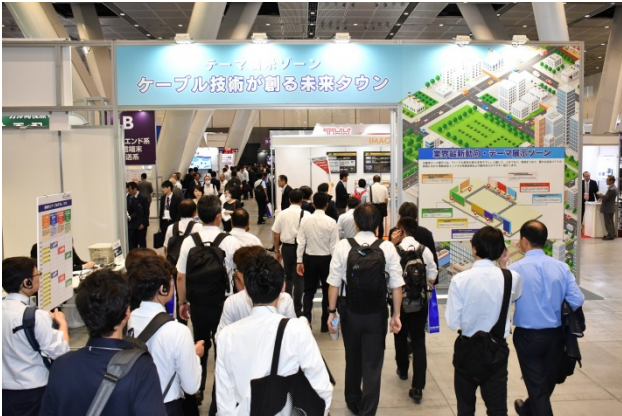
⑦ **ハイコネを用いたローカル局視点での動画配信** [協力：（一社）IPTVフォーラム]

放送局がネットにつながった視聴者のテレビを配信動画（特に4K配信）へ誘導するには、ハイブリッドキャストが有効です。しかし現状では多くのローカル局にとっては、ハイブリッドキャストの運用のハードルは高いものとなっています。一般社団法人IPTVフォーラムでは、このたび標準化されたハイコネを使って、ローカル局でも簡単にハイブリッドキャストが運用できる方策を提案しています。スマートホンとテレビとの新しい連携の形をご覧ください。

位置図



主催者テーマ展示ゾーン 写真



実施概要

主催者テーマ展示ゾーンをわかりやすく紹介する「主催者テーマ展示ツアー」と、3つのツアーテーマにマッチした見どころ満載の出展者ブースを巡る「会場内ツアー」を実施しました。2日間合計で主催者テーマ展示ツアー110名、会場内ツアー220名の方にご参加いただきました。

プログラム

〈ツアープログラム〉

●主催者テーマ展示ツアー 所要時間：15分 参加者数：110名

主催者テーマ展示ツアーでは、開催テーマである「ケーブル技術が創る未来タウン」を実感していただく展示品／機器・ソリューションを紹介しました。

●4K・8Kケーブル技術関連ツアー 所要時間：40分 参加者数：68名

新4K8K衛星放送の開始に伴い、ケーブルテレビサービスの高度化は一層加速しています。本ツアーでは最新のヘッドエンド装置、光送信機、STBからハイブリッドキャストの活用など次世代放送に向けた4K8Kにおける先進技術とソリューションをご紹介しました。

訪問ブース：シンクレイヤ(A-01)、ミノル通信(A-02)、ジャパンケーブルキャスト(A-04)、KDDI(B-19)、DXアンテナ(B-31)、智同日本(B-36)、Harmonic Japan(C-07)、ブラックマジックデザイン(C-26)

●次世代高速通信・大容量化関連ツアー 所要時間：50分 参加者数：78名

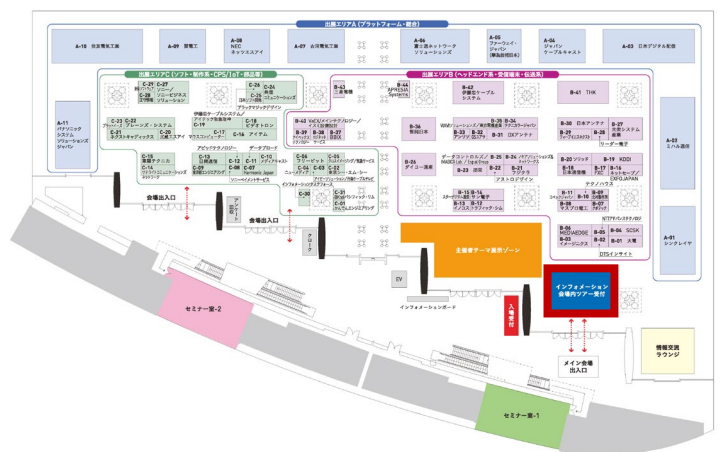
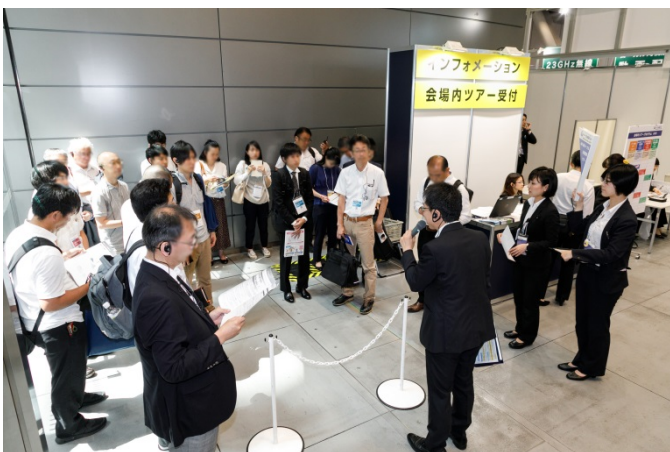
高機能で高信頼な次世代高速通信・大容量化に向けた10GE-PONや用途に応じた各種FTTH端末、そしてシステム機器の統合管理システムやIP再放送で使用されるIPマルチキャスト伝送の品質評価など、各社の特長を詳しくご紹介しました。

訪問ブース：シンクレイヤ(A-01)、古河電気工業(A-07)、住友電気工業(A-10)、アンリツ(B-33)、智同日本(B-36)

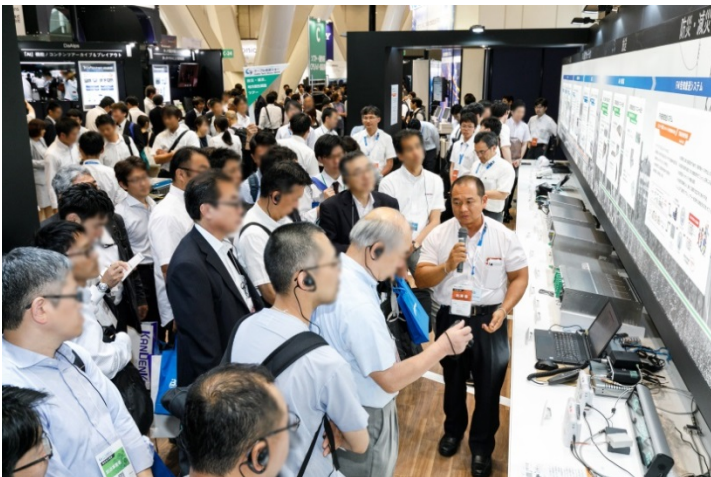
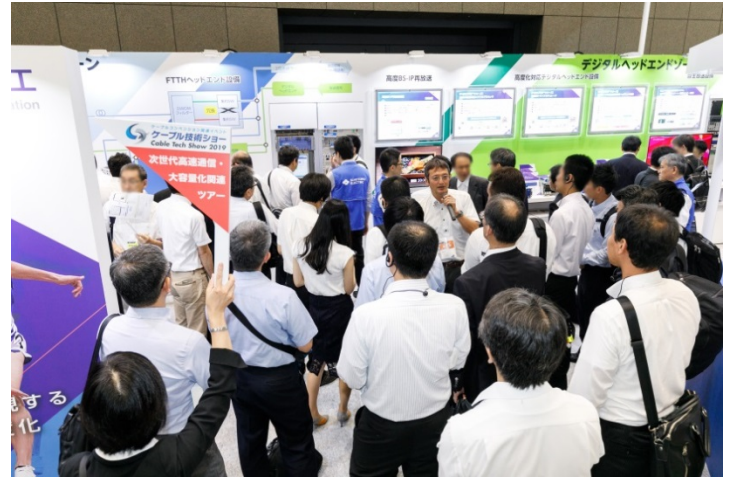
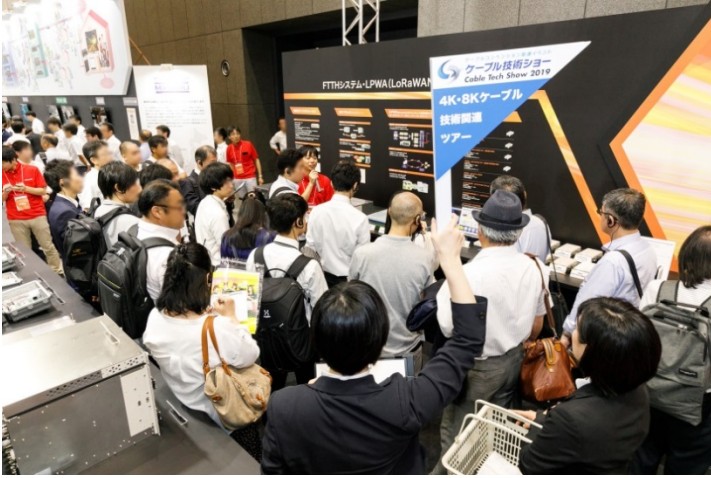
●防災・減災、地方創生関連ツアー 所要時間：50分 参加者数：74名

日本各地で降雨量が観測史上最大を更新し、50年に一度の大雨が今年に入って既に2回も発生した2019年。本ツアーではケーブル技術やIoTを活用した地域の防災・減災に向けた様々な最新ソリューションの紹介、AIによるスマート都市監視ソリューションなど、これからの街づくりに不可欠な様々な提案をご紹介しました。

訪問ブース：シンクレイヤ(A-01)、ジャパンケーブルキャスト(A-04)、富士通ネットワークソリューションズ(A-06)、古河電気工業(A-07)、サン電子(B-14)、ソリッド(B-20)、THK(B-41)、アイビーソリューション／丹南ケーブルテレビ(C-03)、データブロード(C-11)、サテライトコミュニケーションズネットワーク(C-14)



会場内ツアー 写真



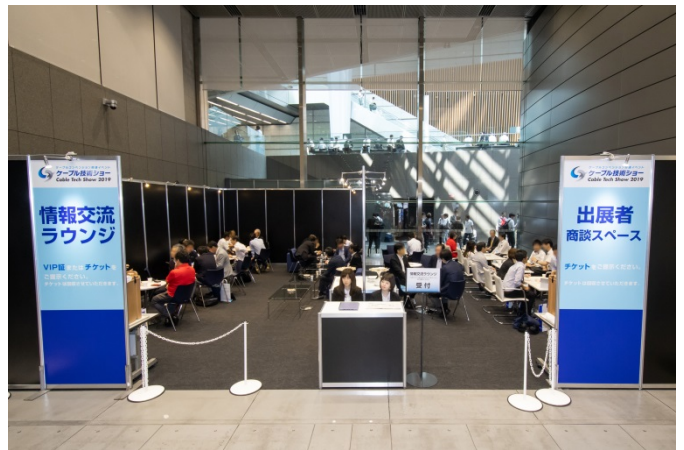
情報交流ラウンジ 概要

実施概要

出展者の皆様に商談、情報交換・交流の場として情報交流ラウンジを設置し、VIP ラウンジとしてご利用いただきました。

【利用時間】 19日 (水) 9:30~18:00
 20日 (木) 9:30~16:00

会場





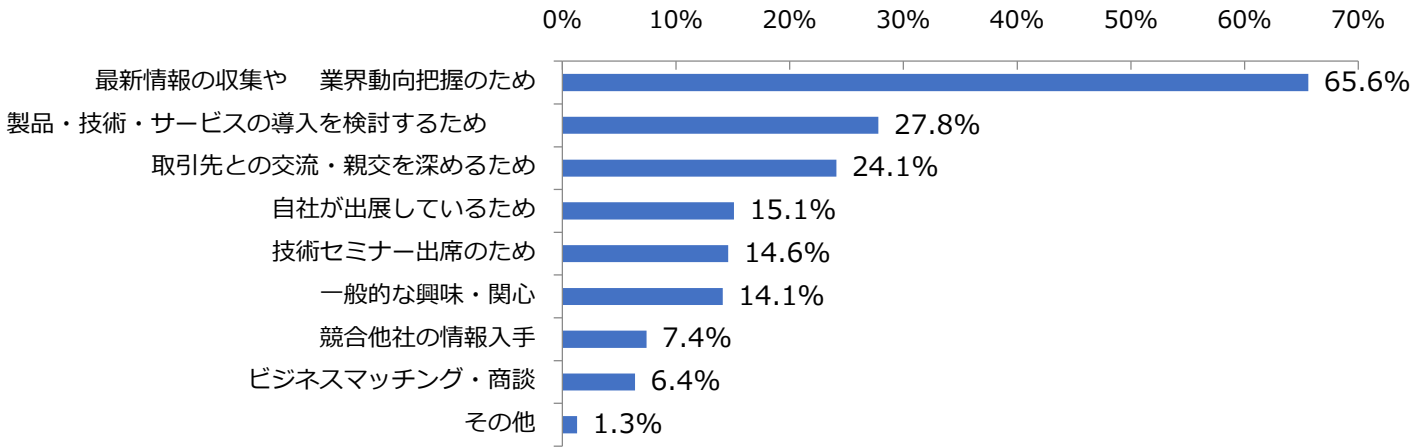


来場者アンケート集計結果

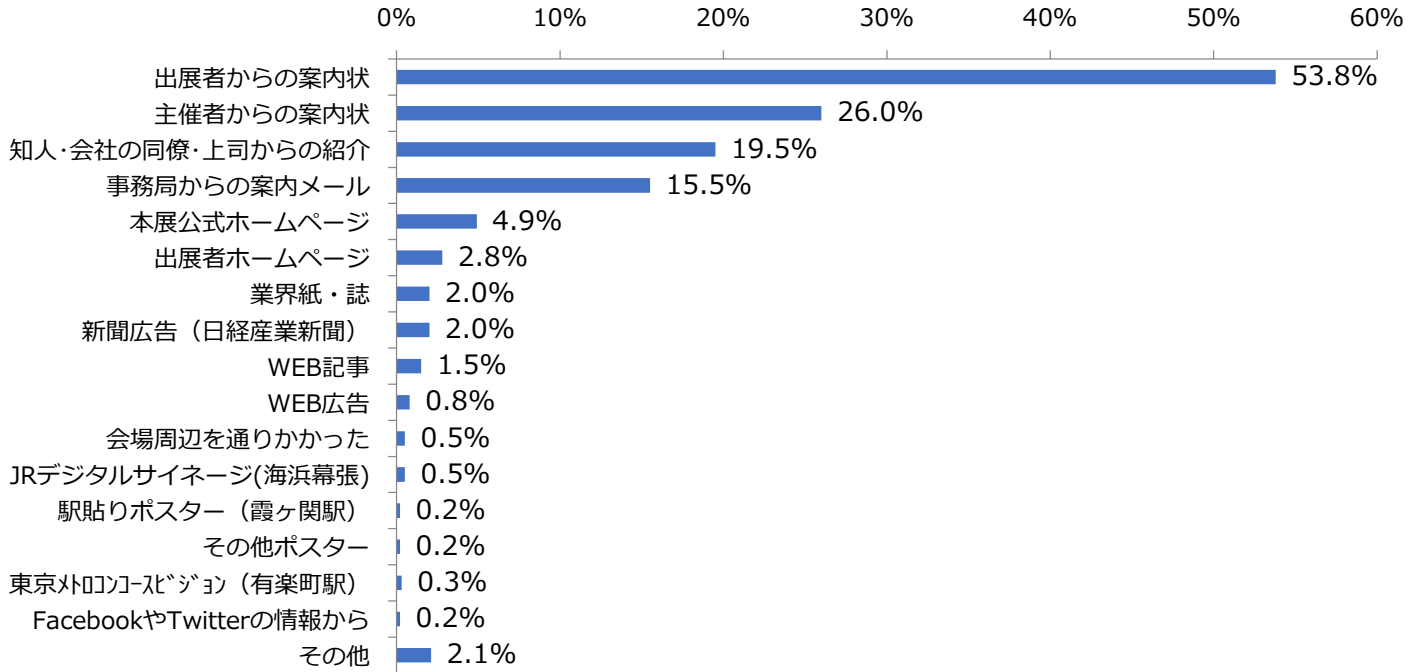
会場回答 507名、オンライン回答 105名

来場者アンケート集計結果

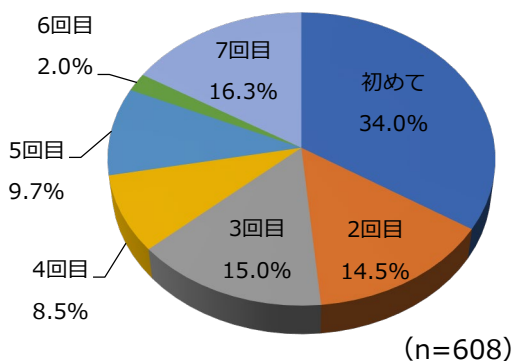
Q1. 本展の来場目的は何ですか？（複数回答可）



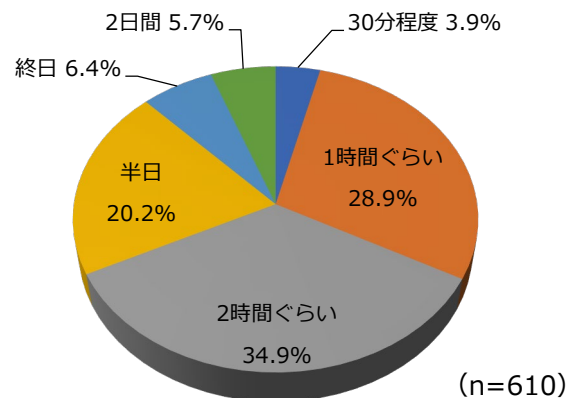
Q2. 本展を何でお知りになりましたか？（複数回答可）



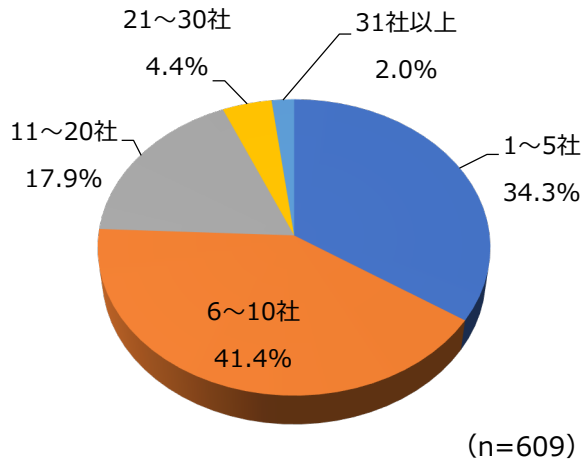
Q3. 過去を含めて本展への来場頻度をお聞かせください。



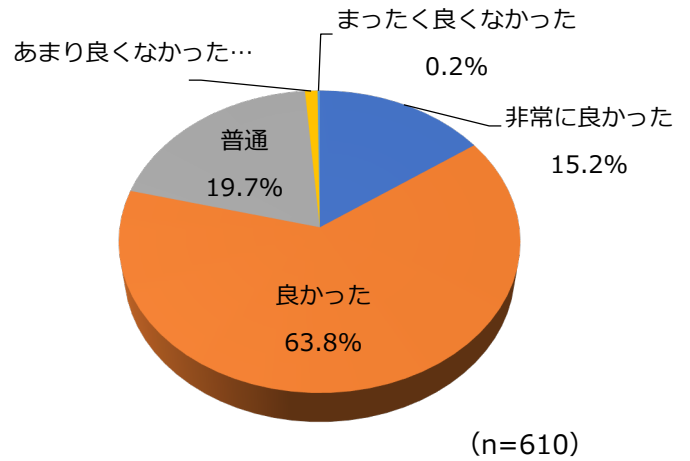
Q4. 本展をどのぐらいの時間ご覧になりましたか。



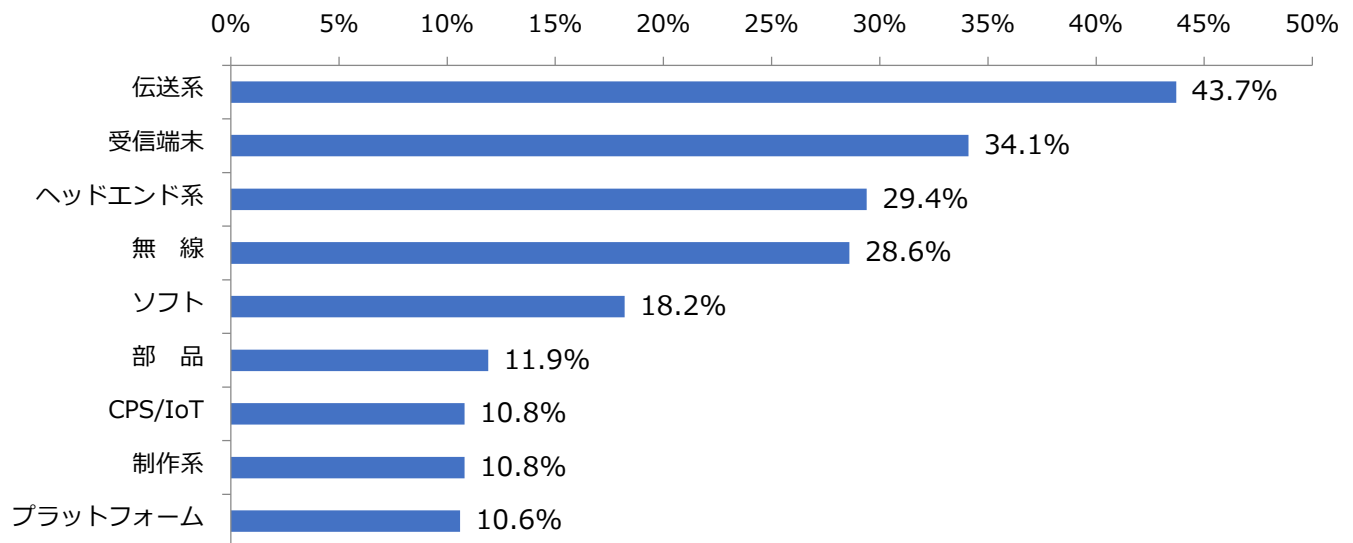
Q5. 今回、何社訪問されましたか。



Q6. 本展をご覧になった印象をお聞かせください。



Q7. 興味を持った出展内容・分野は何ですか（複数回答可）



● その理由をお聞かせください。（ ）内は選択内容・分野

- ・ 光化推進の為、制作での編集効率化など。
- ・ オペレーション効率化に興味がある為。
- ・ 少人数体制への対応を見据えて新技術を見たくなった。
- ・ 集合住宅系の情報も頂けた為。
- ・ 今後採用するSTBを検討するのが主な目的だったため。
- ・ CATV事業者としていろいろと情報収集しなければならないという使命感。
- ・ 見守りシステムが興味深い。
- ・ Inter-BEE等他の展示会でなかなか見られない部分を特に興味を持ってみた。
- ・ 10Gbps対応のOLT/ONUや5Gに関心があるため。
- ・ 4K・8Kの今後の動向に関心がある為。
- ・ 実際に現場で使用されている（される予定の）機器がどのようなものなのか、開発製造側の意見や仕組みの意図を知りたかったから。

来場者アンケート集計結果

Q8. 印象に残った出展ブースとその理由

※下記、回答件数の多かった上位5ブースを掲載。

●富士通ネットワークソリューションズ

- ・ 監視業務の自動化をテーマにしていた為。
- ・ AI活用の可能性に興味を持った。
- ・ 5G/AIといった注目度の高い最新技術の展示が多かったため。

●パナソニックシステムソリューションズ

- ・ Iotを使った各種サポートの発送が良かったため。
- ・ 業界最小STB、4K-STB
- ・ 人口減時代の業務効率化に興味があったため。

●シンクレイヤ

- ・ ネットワーク二重化技術とLPWA連携サービス。
- ・ 新型のONT、R-PONに興味あり。
- ・ STB等、新開発品が多い。

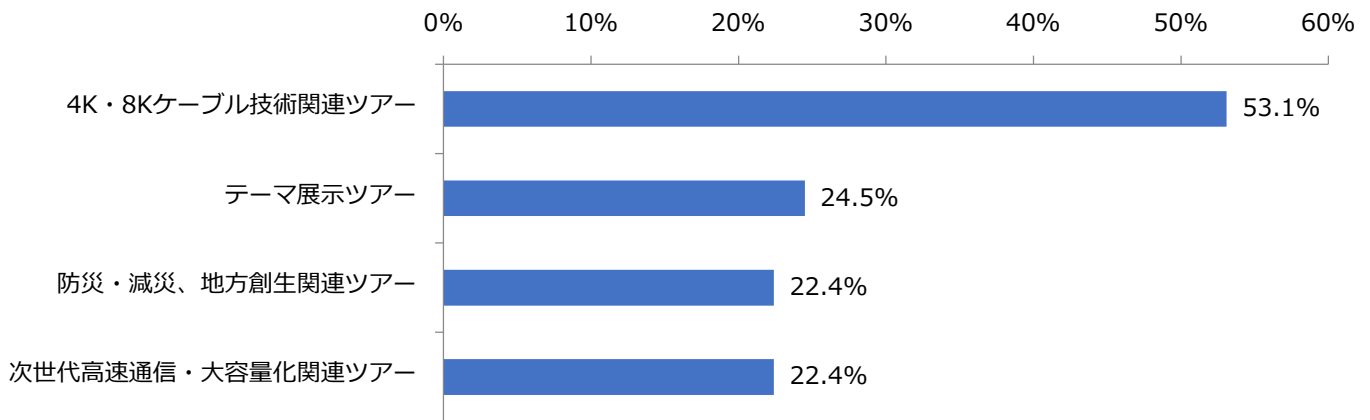
●ミハル通信

- ・ システム全体の絵があって分かりやすい。
- ・ 実演が良かった。
- ・ ハイブリッドキャストを使ったコミチャン自主は印象に残った。

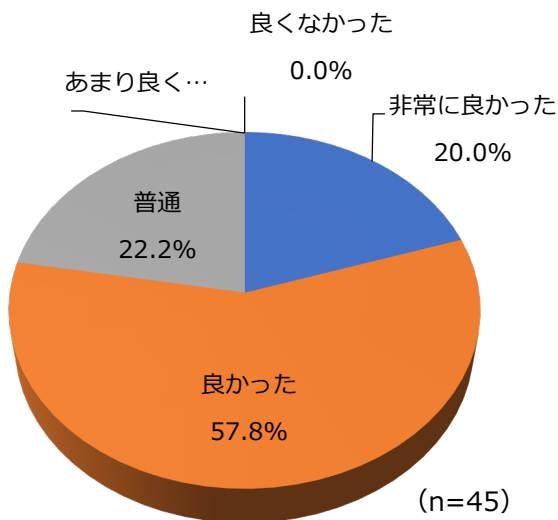
●住友電気工業

- ・ 高度BS-IP再放送
- ・ 5G/AIといった注目度の高い最新技術の展示が多かったため。

Q9-1. どちらの会場内ツアーに参加しましたか。



Q9-2. 会場内ツアーに参加した感想をお聞かせください。



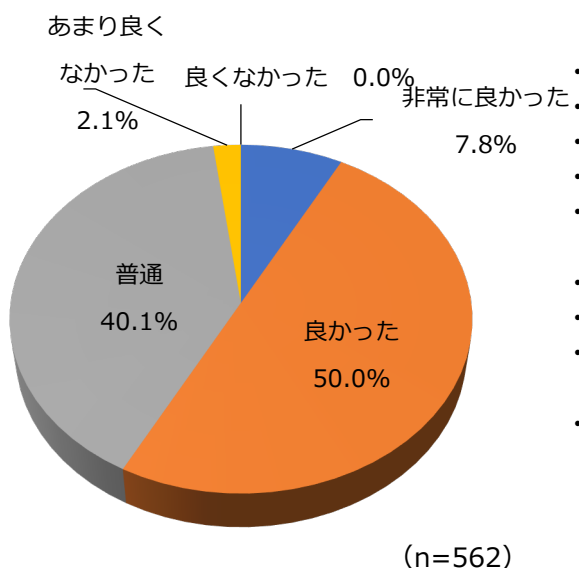
●参加した理由をお聞かせください。

- ・短時間に出展者の意向が解り、その後の視察の参考になる。
- ・説明付きで分かりやすかった。
- ・テーマに沿ったブースに案内してもらえたので。
- ・個人で回っても分からなかったと思うので。

●参加しなかった理由をお聞かせください。

- ・時間が無かった。知らなかった。
- ・自分のペースで見学するため。
- ・タイミングが合わなかった。

Q10. テーマゾーンの印象をお聞かせください。



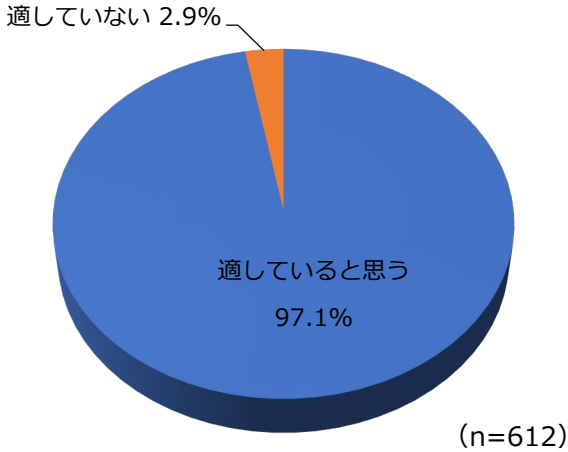
●その理由をお聞かせください。

- ・情報通信インフラの動向を知ることが出来た為。
- ・広さ、出展社数も適切で、カテゴリ分け出来ていた。
- ・あまり特色が絞り込めていない。
- ・次世代防災減災システムの情報を知ることができた。
- ・ケーブルテレビ網の無電柱化等、今後実施されていくであろう最先端の技術を垣間見ることができてよかった。
- ・最新の情報を収集できた。
- ・分野毎に分かれていたため、見学しやすかった。
- ・よく分からない。興味のあるテーマではなく、業界全体の動向を知りたかった。
- ・各ブースで説明員がおり、分かりやすく説明してもらえた。

来場者アンケート集計結果

Q11.開催会場についてお伺いします。

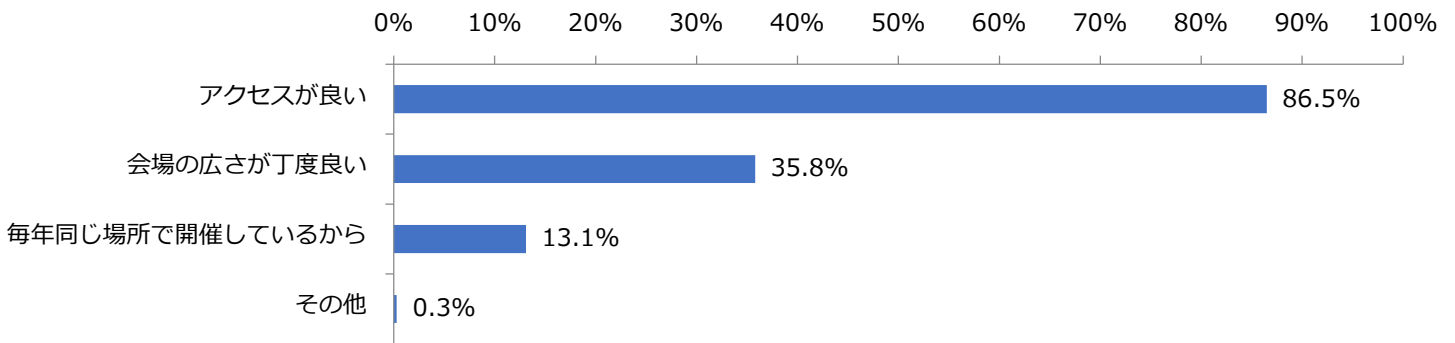
東京国際フォーラムでの継続開催は適していると思いますか



●「適していない」と回答された方にお伺いします。
その理由をお聞かせください。(複数)

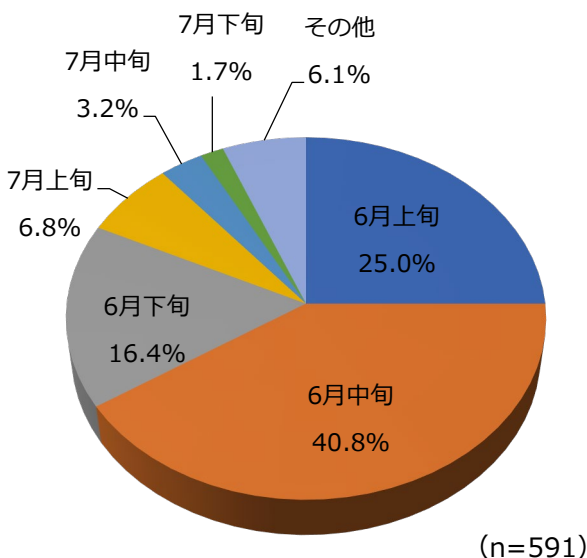
- ・会場の見通しが悪く、回遊しづらい。
- ・会場が狭い、より大会場での開催希望

適していると思うその理由をお聞かせください。(複数回答可)



Q12.開催時期についてお伺いします。

東京国際フォーラムでの継続開催は適していると思いますか



●その他の開催時期をお聞かせください。

- ・株主総会後が良い。
- ・秋。
- ・Interopなどほかの大規模展示会と重ならない時期。

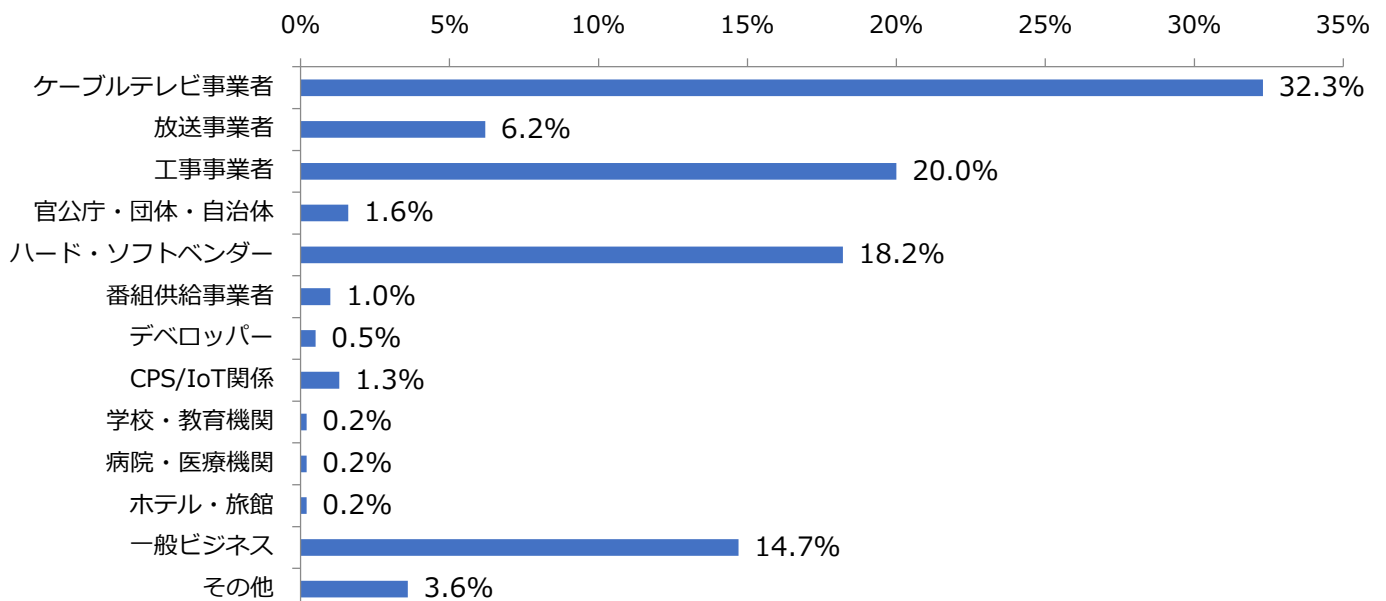
●開催時期の理由をお聞かせください。

- ・気温が適温。(6月上旬)
- ・他の展示会と被らない。(6月上旬、7月上旬)
- ・新入社員を同行させられる。(6月下旬)
- ・7月は野球中継がある為、CATV事業者が参加しにくい。(6月中旬)
- ・各種展示会の情報が比較できるから。(6月中旬)
- ・自治体入札時期に適している。(6月下旬)
- ・特にいつでもいいと思う。但し、毎年同じ時期の方が良い。(その他)

Q13. 今後のケーブル技術ショーに期待するものがあればお聞かせください。

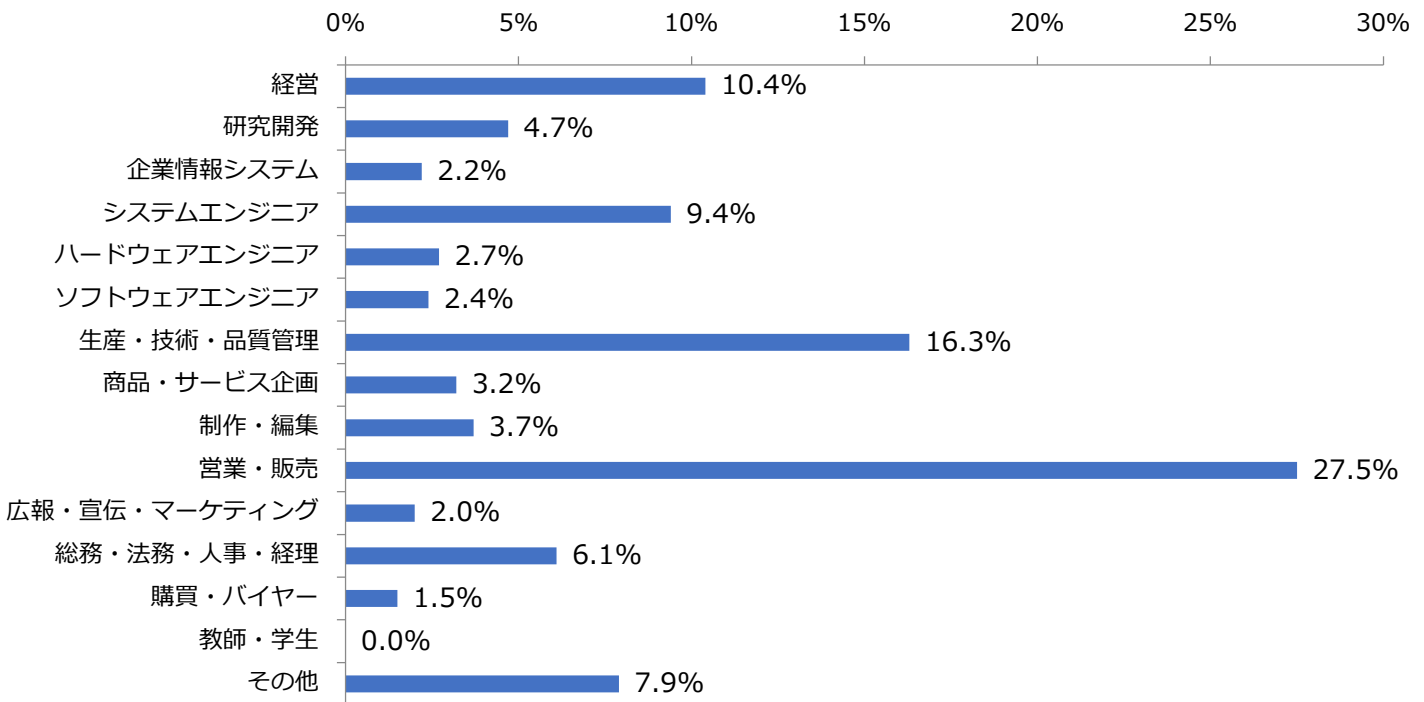
- ・ソフトウェア、サービス系アプリ関連についてもっと知りたい。
- ・体験できる出展ブースが増えると楽しめそうですね。
- ・撮影、編集機器の充実。
- ・ケーブルTV以外への汎用性もほしい。
- ・製品コンテストの実施。
- ・CATV業界だけでなく、関連した展示会等があればもっと良い。電気設備、安全衛生など。
- ・サプライヤーゾーンを再度設けてCATVのユーザー獲得のためのイベントをして欲しい。
(土日ファミリー向けに)
- ・4K・8Kソリューション技術、AI技術の活用。
- ・5G、IoT、地域BWA、AI関連ソリューション技術の展示拡大。
- ・5G導入に伴い、ケーブル伝送はどういったインパクトを受けるのか知りたい。
- ・新技術 アイデア商品の紹介。
- ・ネット配信ソリューション技術の展示。
- ・技術ショーではあるものの、サプライヤエリアもあった方が良い。
- ・ソリューション解説の場合はパネル等でも良いが、ハードウェアが関わる場合は、実機展示があると良い。
- ・コンテンツ制作会社、CATV局の出展を。
- ・システムの自動化の展示。
- ・ハード面の出展を希望します。
- ・IPとの連携や地域交流サービスへの展開。
- ・ケーブル技術の基礎。
- ・FTTH引込関係の保守について。災害時、緊急時の最速復旧方法。
- ・同時開催のケーブルコンベンションの各種セミナーとの時間調整。
- ・今後発展していくであろう5GやAI等の技術進歩を見ていきたい。
- ・業界直近の未来ではなく、5~10年、10~20年の後の未来を見せる展示会もしてほしい。
- ・集合住宅系の様々な情報。
- ・オンプレ⇒クラウドへの移行を進めるため、クラウドベンダーやスクラッチ開発が出来る会社等、将来に繋がる可能性のあるベンダーを初回招待枠ブースを設置するなどして新しい風を入れて欲しい。
- ・新規出店企業が増えると、より会場に足を運びたい気持ちが強くなる。
- ・携帯基地局などの具体的な装置などの設置状態を詳しく知りたい。5Gの将来を詳しく知りたい。

F1. 勤務先の業種をお聞きします。

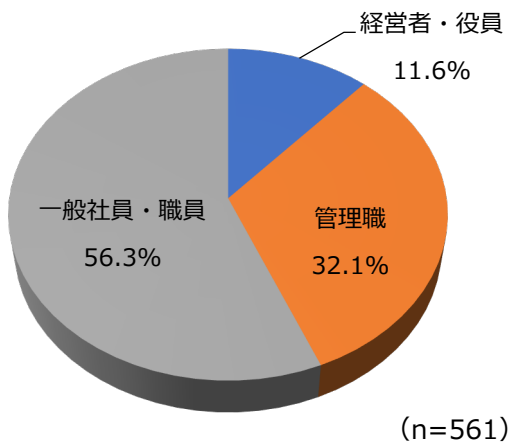


来場者アンケート集計結果

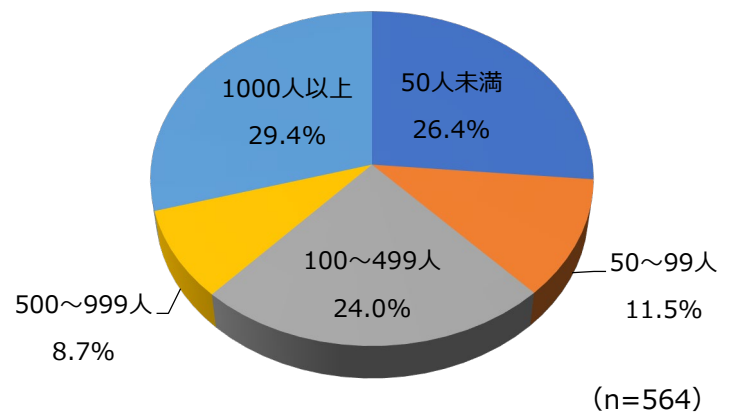
F2. 勤務先での職種をお聞きします。



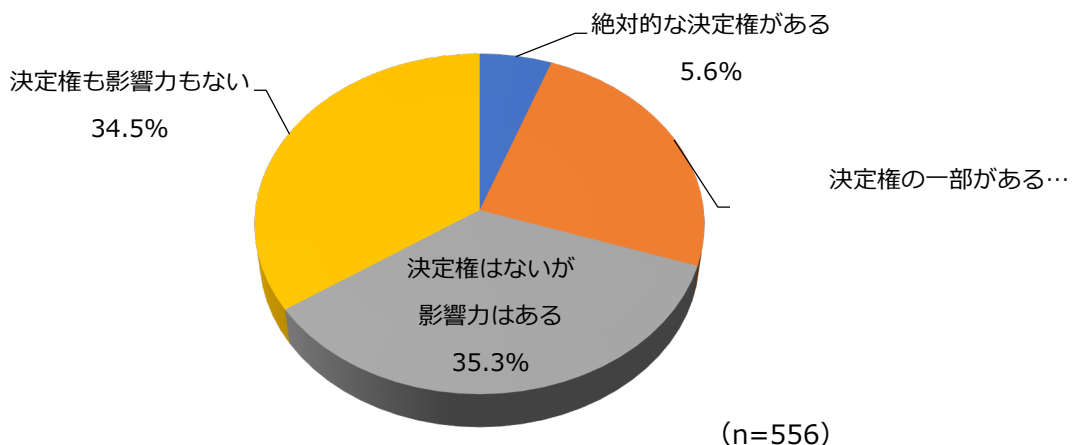
F3. 職務レベルをお聞きします。



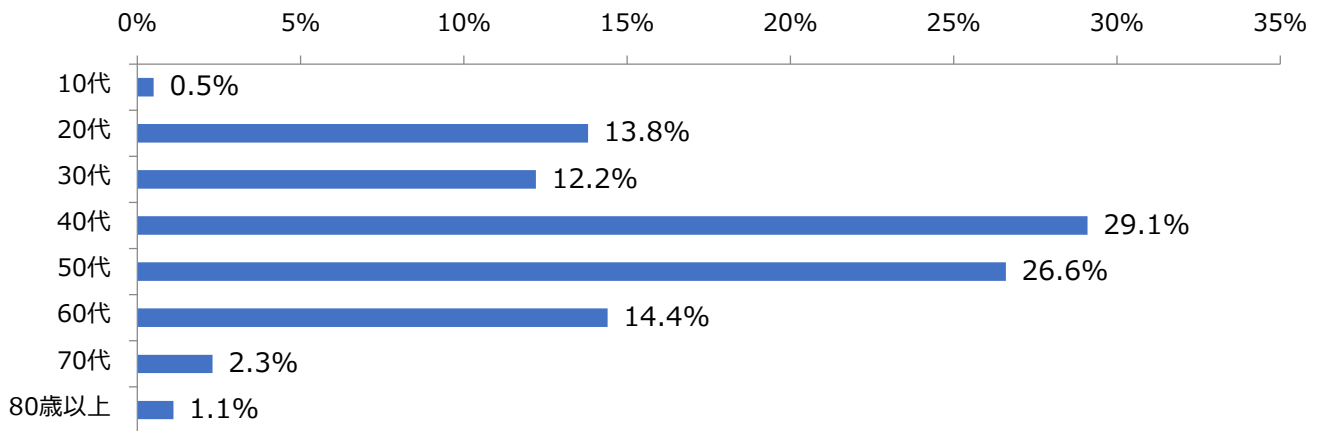
F4. 従業員数は。



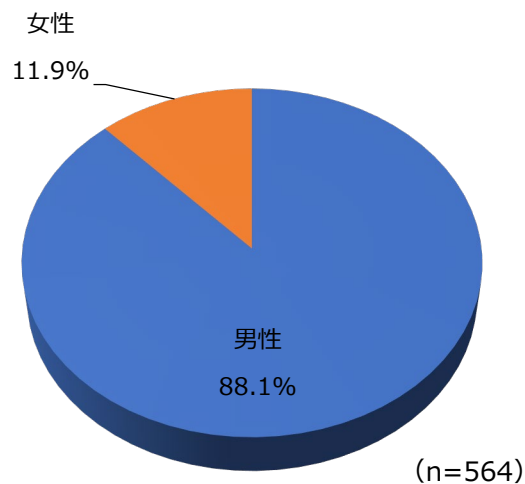
F5. あなたは製品・技術・サービスの購入・導入について決定権や影響力をお持ちですか。



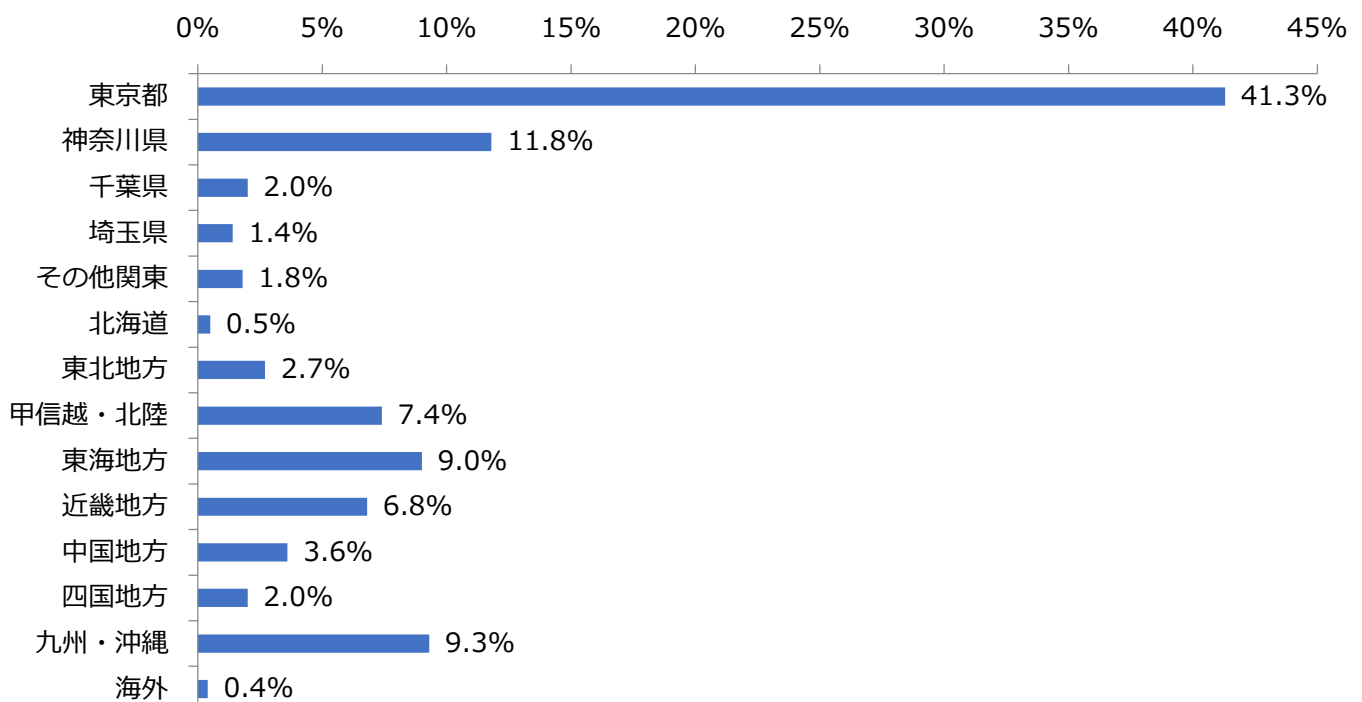
F6. あなたの年齢は。



F7. あなたの性別は。



F8. 勤務地はどこですか。



次回開催予定

会期：2020年6月10日（水）～11日（木）

会場：東京国際フォーラム